

平成28年度関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海・病害虫部会現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・病害虫部会長
農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域長
後藤 千枝

1. 趣旨

小さな面積で高い収益をあげる集約型農業は全国各地で行われているが、山梨県では果樹や野菜を含めた経営により全国上位の土地生産性をあげている。本現地研究会では、集約型農業で問題となる連作障害や土壌病害虫への取り組みを中心に講演発表をいただき、今後の病害虫対策の技術開発について検討する。また、現地視察では、山梨県の生産現場での取り組みを視察するとともに、直販所からみた病害虫の問題と対策について議論する。

2. 開催日時 平成28年10月13日（木）13：20～14日（金）12：45

3. 開催場所

研究会（1日目） やまなしプラザ 1F オープンスクエア
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 050-5846-2962 (<http://www.yamanashi-plaza.com/>)
JR 甲府駅南口より徒歩約7分

現地視察（2日目） 1) 施設トマトの黄化葉巻病防除対策（現地圃場、中央市下河東）
2) 水田およびスイートコーンとの輪作による抑制ナスの連作障害対策と「かいてき仕立て」（現地圃場、市川三郷町大塚）
3) 道の駅「とよとみ」（中央市浅利）

4. 検討事項

「集約型農業における病害虫防除対策」

1) 千葉県における低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒の取り組み
千葉県農林総合研究センター 福田 寛

2) 病原菌の発生生態に基づく土壌病害の防除
～輪作体系の研究からわかったこと～
群馬県農業技術センター 池田健太郎

3) 養液栽培における高温性水媒伝染病害の診断と対策
岐阜県農業技術センター 渡辺秀樹

4) ネコブセンチュウ害とネコブセンチュウが青枯病発病に与える影響
農研機構 中央農業研究センター 植原健人

5) 光を利用した害虫防除技術の開発状況
農研機構 生物機能利用研究部門 霜田政美

6) 総合討論

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政部局及び試験研究機関、農林水産省生産局、消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、民間研究機関、大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門、野菜花き研究部門、生物機能利用研究部門、次世代作物開発研究センター、農業技術革新工学研究センター、農業環境変動研究センター、中央農業研究センター、その他部会長が認める者

6. 連絡先

会議関係：中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域

長坂 幸吉 nagasaka@affrc.go.jp

TEL 029-838-8939 FAX 029-838-8837

参加申込み：山梨県総合農業技術センター 環境部 作物病害虫科

村上 芳照 murakami-vvs@pref.yamanashi.lg.jp

TEL 0551-28-2953 FAX 0551-28-4909

7. その他

参加、会場案内等詳細については事務局から別途連絡する。また、中央農業研究センターホームページの「研究交流の広場」
http://www.naro.affrc.go.jp/narc/kenkyu_koryu/news/063963.htmlからも入手できる。